



INDONESIA N&R HIROSE



Chofu Bible Baptist Church, Tokyo, Japan

Japan Baptist Bible Fellowship

2023年10月～2024年3月

「ことばに表せないほどの賜物のゆえに、神に感謝します」2コリント9章15節

半年ぶりの御報告になってしまいました。変わらぬ恵みの中でご奉仕にあずかれるさいわいに感謝します。

1.秋田の母の死去

お祈りいただいていた憲夫の母イエ95歳は、2023年10月23日、静かに息を引き取りました。

私たちがインドネシア宣教師としてデピュテーションを始める直前1989年秋に父が亡くなったのが、ついこの間のようにも思えます。それから35年が経って、今また一つの節目を迎えていると感じていた所で、母が亡くなりました。

家族の理解を得るための努力を怠ったままに献身し、転職してのインドネシア行きで、主にゆだねると言えば格好はいいですが、実際には、何もできないままでした。それでも、この最後の1年間、傍らにいる時間を多く与えられ、頭部の悪性腫瘍による不自由がありながらもいろいろな話ができただことは感謝でした。

残された実家の弟夫婦の平安と救いのために続けてお祈りいただければさいわいです。

2.ダニエル・マナル兄婚約

2024年12月に神学校を卒業予定のダニエル兄が、主のお導きの内に、調布聖書バプテスト教会の姉妹と婚約しました。30年インドネシア生活をしてきて、異なる文化の中での生活の大変さを実感してきた者として、世界も時代も変わりつつあることを改めて感じさせられ、主の御名を賛美しました。

3.インドネシア全国フェロシップキャンプ

2024年

インドネシア全国の牧師・伝道師他、教会学校の奉仕者も含めた「主のしもべフェロシップ」がメダン市で1月23-25日に行われました。毎年主催地がインドネシア各地を移動して行われています。行政の規定に沿った、宗教法人の話し合い・外国人就労者としての宣教師とフェロシップ理事との会見・書類作成も合わせて2時間ほど行われますが、3日間の日程の大部分は集会、セミナーです。29教会74名の参加者で、説教者5名、内一人が佐藤一彦海外宣教委員長でした。



フェロシップキャンプ主催委員長はシトメアン牧師(写真中央)

1年間の準備期間、案内および参加者の集計・費用送金はすべてオンラインで行われ、集会関係一切の準備実施・ライブ配信を含めて、メダン周辺諸教会の青年たちが協力して運営してくれました。

諸集会の総合テーマが「福音宣教を促す聖霊の力」(1テサロニケ1:5)。佐藤師からはメッセージで「なぜ世界宣教は重要なのか」、セミナーで「与えよ」。ウガンダ宣教の証しを含めて、大きな励ましをいただきました。

佐藤海外宣教委員長には、宣教地視察の上に、ビンジェイ特別集会での御言葉のご奉仕をいただき、大変恵まれたお交わりをいただきました。

来年のフェロシップキャンプは中部ジャワ州で行われる予定です。

フェロシップキャンプの後、ビンジェイ教会で特別集会でも佐藤師にメッセージをしていただきました。近隣教会が集まっただけの交わりは、コロナ禍時期には全く行われていませんでしたから、4年ぶりでした。

諸集会を通して、神の全世界に向けての愛、全能の神の権威、全ての歴史を通して成就しようとしている働きのビジョンを、私たちの肉の思いで制限することなく、聖霊の導きに従って新たな働きをするために出ていく弟子を育てる課題が明確にされたことを感謝します。



佐藤師をお迎えしたビンジェイ特別集会に集まった伝道者たちと

4.今後の働き

3月中旬から一時帰国中。6月にはインドネシアに戻り、メダン北部伝道に注力しようと祈っています。高齢者の域に入り、4年前に新型コロナの初期タイプに感染した後遺症らしきものもあり、以前のような働き方はできなくなってきています。現地の伝道者と協力しながら、許される間、できるだけのことをささげていければと思っています。

主イエスの恵みが共にありますように

2024年4月17日

広瀬憲夫 令子